次の世代へ、受け継ぐ技
～浦添の5つの無形民俗文化財～

見る

十五夜祭

9月25日（金）、各地で開催

戦前より、毎年旧暦8月15日に厄払いと五穀豊穣・子孫繁栄を祈って行われてきました。内間の獅子舞と棒、仲西の獅子舞、勢理客の獅子舞は、この日に各自治会で披露されます。

祭り

前田の棒は、毎年8月に行われる「綱曳き盆踊り」で披露されます。

浦添獅子舞フェスティバル

11月15日（日）に開催予定

内間、仲西、勢理客の獅子舞が一同に会して演舞を披露します。3体の獅子舞が並ぶ姿は、フェスティバルならではの光景です。

つながる

世代を超えて

十五夜祭や祭りなどに向けて、演舞の練習を行います。先輩から若い世代へ舞や掛け声を伝える時間も、伝統を受け継ぐ大切な活動の一つです。

勢理客獅子舞保存会
比嘉　悠琥（はるく）さん
神森中学校1年（12歳）

始めたきっかけ

母が踊りをやっていて、その影響で小学３年生の頃に始めました。

楽しかった思い出

小学６年生の時に、初めて十五夜祭に出れた時は、とても楽しかったです。

今後の目標

皆の前で恥ずかしがらずに、堂々と踊れるようになりたいです。

内間獅子舞棒術保存会
玉城　杏梨（あんり）さん
高校3年生（17歳）

始めたきっかけ

棒術をやっていて、獅子舞にも興味が出たので始めました。

楽しかった思い出

初めて十五夜祭に出た時に緊張したけど最後まで演舞ができて、楽しかったです。

今後の目標

昔から続いている獅子舞の型を、継承していきたです。

次の世代へ

運動会で披露する棒を指導（内間）

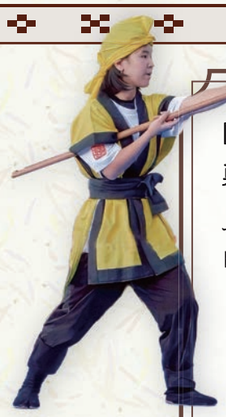
こども園を招いて勉強会（勢理客）

学校やこども園、児童センターなどの子どもたちへ直接指導を行い、地域の伝統を次の世代へ受け継ぐ活動に取り組んでいます。（仲西・内間・勢理客・前田）

Check! 各保存会では、一緒に伝統をつなぐ仲間を募集中！興味のある人は、保存会へご連絡を！

市の公式Instagramでは、各保存会の練習風景やインタビュー映像を投稿しています

知る



内間獅子舞棒術保存会
会長　東江　尚治さん

内間の棒（昭和56年3月2日　市文化財指定）

勇壮で活発な動きが魅力の「手棒」

約400年前に伝えられたといわれています。「手棒（てぼう）」とも呼ばれ、勇壮で活発な演技が特徴です。棒には一人棒、二人棒、三人棒などがあり、旧暦8月15日の十五夜祭では内間の獅子舞とともに披露されます。

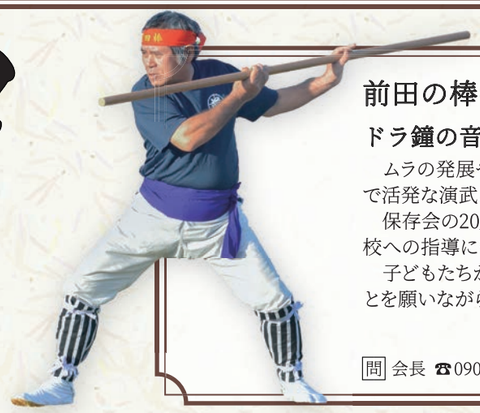
内間の獅子舞（昭和56年3月2日　市文化財指定）

雌獅子が見せる、細やかで勇壮な舞

約400年前に茶貫々丸（ちゃぬちぬちまる）によって伝えられたといわれています。雌獅子による細やかで勇壮な舞が特徴です。

活動としては、地域の行事のほかに、内間小学校の3年生に獅子舞と棒術の指導を行い、運動会で演舞してもらっています。内間の伝統芸能を見てもらって、興味を持ってもらえるよう、幅広く活動しています。

問 内間公民館　☎877（3251）



前田棒保存会
会長　親富祖　政広さん

前田の棒（昭和56年3月2日　市文化財指定）

ドラ鐘の音に乗せて繰り広げる、多彩な武の技

ムラの発展や子孫繁栄、豊年満作を願って演じられ、勇壮で活発な演武と独特なドラ鐘の打ち方が特徴です。

保存会の20人以上の子どもたちのほかに、地域の小・中学校への指導にも取り組んでいます。

子どもたちが成長し、前田棒を次の世代へつないでいくことを願いながら活動しています。

問 会長　☎090（7479）7581

仲西獅子舞保存会
会長　眞島　章次さん

仲西の獅子舞（昭和56年3月2日　市文化財指定）

市内唯一の雄獅子が見せる、力強い舞

約450年の歴史があると伝えられ、戦前から毎年、地域の十五夜祭で演じられてきました。浦添市内で唯一の雄獅子で、いかめしい表情と力強い舞が特徴です。小・中学校での指導や、九州地区民俗芸能大会に出場するなど、幅広く活動しています。

伝統ある型の基本を絶やさず、次の世代へつなぐことを大切にしています。

問 事務局（渡口）☎090（6867）9756

勢理客獅子舞保存会
会長　具志堅　勝哉さん

勢理客の獅子舞（昭和48年11月5日　市文化財指定）

大きな踏み込みが生む、細やかで勇壮な舞

約450年前にコーレー具志堅によって伝えられ、雌獅子による細やかな動きと、大きく力強い足の踏み込みが特徴です。市指定文化財のほか、国の選択無形民俗文化財にも選ばれています。十五夜祭での演舞に加え、勢理客こども園の園児への獅子舞教室、国立劇場おきなわでは、こけら落としや20周年の際に演舞をしました。

子どもたちには、文化財の担い手として恥じないような演舞をしてもらいたく、練習と遊びのメリハリをつけて指導しています。

問 会長　☎090（5029）2059